

## 第 5 回海岸漂着物対策専門家会議 結果概要

平成 24 年 3 月  
水・大気環境局海洋環境室

【開催日時】 平成 24 年 3 月 13 日(火) 13:30～15:00

【開催場所】 環境省第 1 会議室

### 【出席者】

- ・ 委員：別紙のとおり
- ・ 事務局（環境省）：環境省水・大気環境局海洋環境室長 ほか
- ・ 委員及び事務局のほか、関係省庁より参加
- ・ 傍聴者有り、公開で実施

### 【議題】

1. 海岸漂着物対策専門委員の変更のご報告について
2. 海岸漂着物処理推進法の施行状況について
3. 地域グリーンニューディール基金（海岸漂着物地域対策推進事業）の執行状況等について
4. 東日本大震災に係る関係省庁の関連施策のご報告について
5. その他

### 【概要】

#### ● 議題 1 関連

事務局（環境省）より、海岸漂着物対策専門委員の変更について報告。

#### ● 議題 2・3 関連

事務局（環境省）より、海岸漂着物対策海岸漂着物処理推進法の施行状況に関する調査結果及び地域グリーンニューディール基金（海岸漂着物地域対策推進事業）（以下「地域GND基金」という。）の執行状況等について報告。

これに対する委員からの主なご指摘は以下のとおり。

ご指摘等	回答
海岸を持つ県であっても、地域グリーンニューディール基金の配分を受けていないところもあるが、その背景や、配分を受けていない県の対策も把握すべき。	拝承。
関係者が情報交換を行う場を設けるべき。	拝承。
各都道府県における地域グリーンニューディール基金事業の具体的な内容を整理すべき。	拝承。
海岸漂着物処理推進法の進捗状況について、今回の資料では各都道府県の取組の進捗となっているが、国の取組の進捗状況も整理していただきたい。	拝承。
海岸漂着物処理推進法及び地域グリーンニューディール基金による対策の中間的な評価をお伺いしたい。	法の制定により海岸漂着物を処理すべき者が明確になった。また、基金事業により、地域計画が策定されることで海岸漂着物の体制が作られたこと、まとまった量の海岸漂着物の処理が進んだと評価。
財源がついてしまっは、せつかく策定した地域計画が実効性のあるものにならない。今後の財政措置については、早めに方針を決めていただきたい。	拝承。

● 議題 4・5 関連

関係省庁より、東日本大震災にて流出した漂流・漂着・海底ごみに対す取組について報告、また、環境省より平成 23 年度に実施した各種調査について報告。

これに対する委員からの主なご指摘は以下のとおり。

ご指摘等	回答
実施した調査については、ウェブサイトですやくかに公表していただきたい。	拝承。

( 別 紙 )

第5回海岸漂着物対策専門家会議委員一覧

区分	職 名	氏 名
座長	大妻女子大学教授	兼廣 春之
委員	財団法人 環日本海環境協力センター事務局長	川崎 清人
委員	一般社団法人 J E A N理事・事務局長	小島 あずさ
委員	財団法人 リバーフロント整備センター理事長	竹村 公太郎 (欠)
委員	鳥取環境大学教授	田中 勝
委員	全日本漁港建設協会会長	長野 章
委員	社団法人 日本マリーナ・ビーチ協会理事長	西島 浩之
委員	鹿児島大学水産学部教授	藤枝 繁
委員	鳥取環境大学教授	三野 徹
委員	財団法人 日本離島センター専務理事	渡邊 東